

佐々木、井上両議員とともに経産省へ要請

浜岡原発の永久停止・廃炉を求め、静岡県の人たちが23日、経済産業省に11万5226筆の署名を携えて、要請しました。佐々木憲昭衆院議員、井上さとし参院議員が同席しました。

署名は昨年5月の浜岡原発

停止後から取り組まれ、8ヶ月で11万筆をこえました。

この間、県内の幅広い住民組織や平和・民主団体の人たちが、静岡市と御前崎市で2度にわたり「ひまわり集会」を成功させてきました。この日の要請には、これらの団体から13団体47人が参加しました。

いでしょう」と訴えました。ほかにも参加者から「子育て世代の人など、10秒に1人のペースで署名が集まった」「震源地の上に原発があるのは地雷に足をのつけているようなもの」など、草の根の思いをぶつけました。

「浜岡原発を廃炉に」 静岡県から署名11万人分提出



静岡県労働組合評議会の林克議長は「こんなに集まる署名はいままでなかった。再稼動には住民合意が必要だといっているが、住民は合意しな

森は日本の宝 森林組合長と懇談

河江明美衆院比例候補、もとむら伸子参院愛知選挙区候補は19日、愛知県設楽町を訪問し、同町森林組合の羽合米三組合長とTPP反対などで懇談しました。田中町議、八田県副委員長も同行しました。

羽合組合長は「林業はかなり前から輸入自由化が行われ、すでにTPP参加と同じ状況です。木材価格が

として、「そりや国産材はいいですよ。日本の気候にあっているんだから」「南に向いた柱は南向きで育った木材を使い、北に向いた柱は北向きで育った木材を使います」と話していました。

県や国に対する要望として▽補助金制度を利用しやすく改善する▽作業中の事故などに緊急対応できるように、山に携帯電話中継局を設置するなどが出されました。

今より下げられたらやっていけません」と話しました。また、長い目で見れば国産材のほうの方が持ちする

また、河江、もとむら両氏は同町にある津具森林組合とも懇談しました。同組合では所有者の境界確認に力を入れた結果、間伐などの仕事につながったといいます。国のモデル事業として補助金を受けるほか、町

が「林業の振興なしに山間部の振興なし」との立場で独自に予算をつけて進めたことがよかったと話していました。

28日に豊橋でTPP反対の決起集会

党東三地区の共同申し入れに各界から大きな反響

党東三地区委員会は28日に開くTPP反対決起集会を成功させようと、JAなどへの申し入れを行っています。その中で日本共産党への期待が広がっています。

蒲郡ではひえの市議がJA蒲郡を訪問し専務理事らと懇談。専務理事は「しんぶん赤旗」日刊紙を読んで、「赤旗のTPPの記事は大変参考になります。学習会などで資料として活用させてもらっています」と話していました。

JA豊橋などにも申し入れ、地元紙に集会の案内をしたところ、「農協が共産党とそういう関係になっているとは、かつては考えられなかった。時代が変わりましたね」と驚かれています。

集会は午後1時半から、豊橋市カリオンビルで。集会後、トラクターや軽トラックを連ねてパレードします。井上参院議員が国会報告、河江比例候補も参加します。

